



拝一小だより

やさしく つよく よく考え
手をつなぐ 拝島の子

昭島市立拝島第一小学校 校長 鵜川 雅行

学校HP: www.city.akishima.ed.jp/~haijima/

TEL. 042-541-1044 FAX 042-541-7894

音楽会 大勢のご参観ありがとうございました

校長 鵜川 雅行

やっと、冬らしい寒さになってきました。日本には四季という素晴らしい季節感があつたのですが、春と秋はあっという間に過ぎてしまうようで、残念です。衣替えという行事もありました。私が子供の頃は、6月と10月に服の入れ替えをしていたことを思い出します。今は、クールビズという言い方で、10月まで夏服という感じに変わり、暑さ対策にはありがたいことです。時代とともに、自然環境の変化とともに変わっていくことは適応するということなのでしょう。



さて、11月16日には音楽会を行いました。コロナウイルス感染を気にすることなく、合唱や合奏を行うことができました。保護者の皆様にも、2部制のご案内をしてより多くの学年の演奏をお聞きいただきました。延べ1071名の保護者の方に参観いただきました。会場の関係で細かなルールを決めて鑑賞をしていただきましたが、皆様のご協力のお陰で、スムーズな運営ができたこと感謝いたします。

保護者の皆様からのアンケートでも、あたたかいお言葉をいただき、演奏した子供たちも、準備をした教職員にとっても大変励みになりました。「子供の演奏から元気をもらって頑張れる」という感想が、一番心に残りました。子供の本気の力は、人を感動させ力を与えてくれる素晴らしさを秘めています。今後も子供たちの成長のために、益々日々の学校生活や行事などを充実させていきたいと感じました。

学校評議員会について

今の学校には、学校評議員制度というものがあります。各学校で委員を選出し、学校の運営について報告をして、ご意見を伺い改善していく組織です。メンバーには、地域の自治会の方、元保護者の方、保護司の方、教育関係者、PTA会長が選ばれています。年に3回行いますが、今回は音楽会を鑑賞していただき、子供たちの様子を見ていただきました。

久しぶりの音楽会ということもあつたのか、「子供たちの生き生きした演奏に感激した」という感想をいただきました。そのほかにも、全国学力調査の結果や体力運動能力の結果、学校での子供たちの様子について報告させていただきました。

話題になったことは、不登校児童のことを含めた、地域と子供たちのつながりのことでした。今は、子供会もなくなってしまったために、子供たちと触れ合うことができない、地域でも子供を見守ることは大切なのに残念とお話でした。また同時に地域の時代を担う人が見つからない等の困り感についても話題になりました。今年度地域の運動会でPTAがバザーを行い、交流をしたことがよかったとのご意見もありました。これからの学校は、地域に応援していただき、地域と助け合う関係を創っていく必要性を強く感じました。保護者の皆さんも子供たちのために、また災害等の共助のためにも、地域とのつながりについて考えていただければ、お互いを助け合うことができるのではないかと考えました。



12月の生活目標「ゴミをしっかりと分別しよう」

学校のゴミ箱に入っているものの多くは、紙類です。その紙ですが、捨ててしまえばゴミになりますが、分別すれば資源へと変わります。教室には、紙をリサイクルするための入れ物を用意しています。資源を大切にすることも持続可能な社会の実現への第一歩となります。

《12月の行事予定》

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
						1日
2日 安全指導 生活指導朝会 避難訓練	3日 授業参観・保護者会 (2・5年)	4日 4時間授業 読み聞かせ	5日 授業参観・保護者会 (3・6年)	6日 持久走月間終	7日	8日
9日 全校朝会 避難訓練予備	10日 部活動体験(6年)	11日 4時間授業	12日	13日	14日	15日
16日	17日	18日 4時間授業	19日	20日	21日	22日
23日	24日 給食終	25日 短縮4時間 終業式・大掃除	26日 冬季休業日始	27日 冬季休業日始	3学期の始業式は、 1月8日(水)です。 健康管理に十分ご注意ください。	

ふれあい月間の取組

生活指導主任 小林 みゆき

11月は年3回実施している「ふれあい月間」の2回目の取り組みを行いました。各学級、朝学習の時間に人との関わりに関する映像を見たり、道徳の時間に自分や友達のよさを見つけて、それぞれの個性の理解を深める授業を行ったりしました。

また、自分自身の生活を振り返るためのアンケートを実施しました。アンケートをもとに担任と子供とが一对一で話をする時間を作り、よりよい学校生活にするための話し合いも行いました。

ご家庭でも「自分や友達のよさ」や「よりよい人間関係」について話し合ってみてください。

持久走旬間の取組

担当 片岡 晋一

11月25日～12月6日までの2週間、持久走旬間として、中休みや体育科の学習で持久走に取り組み、体力の向上を目指します。持久走は、速さや走った距離を競うものではなく、自分に適したペースを見付け、そのペースで走り続けることが大切です。そのため、運動が得意な子だけでなく、誰もが輝くことができる種目です。児童が意欲的に取り組み、運動意欲や体力が向上するよう指導に努めていきます。安全のため、マスクはとって走るよう指導します。心配な方は、担任までご連絡ください。

また、持久走や体育科の学習では、運動に支障がない場合、手袋を着用してもよいことになっています。その際は、付け外しのしやすいシンプルな手袋にしてください。